



連合三重

第16回

地方委員会を開催

30 連合三重 第16回地方委員会

日時：2020年6月5日(金) 場所：三重県勤労者福祉会館



▲主催者代表で挨拶をする吉川会長

6月5日、三重県勤労者福祉会館において第16回地方委員会を開催し、執行部、地方委員、特別地方委員の71名が参加しました。

主催者を代表して吉川会長は、「新型コロナウイルス感染症の拡大を予防するため三密に配慮して地方委員会を開催するなか、地方委員会にお集りいただき感謝する。医療、介護、自治体、教育現場、民間企業、個々の社会活動など、働く多くの仲間がそれぞれの立場でご奮闘いただいていることに、心より感謝を申し上げる。今回の新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響による自粛生活で社会に与えた影響は、新しい働き方が世の中に登場し、テレワークやWeb会議など遠隔で人とつながって仕事をするのがそれぞれの企業で向上した。そして、妊娠中の女性の働き方や休み方をどう守るのかなど新たな視点が登場した。ハラスメントや差別などが社会にクローズアップされたことは、新型コロナウイルス感染症が生んだ一つの社会的な課題提起である。

私たちは、『働くことを軸とする安心社会の実現』に向けた社会像をめざして運動を展開してきた。現在、多くの人が

仕事を失い、休業を強いられて生活不安が高まり、社会的に立場の弱い人へしわ寄せが及んでいることが現状である。これまで働くことによって生活を支え、安心して暮らせることが当たり前であったことを改めて感じている。私たちは、引き続きこの難局を働く者の大同団結で乗り越えなければならない。」と挨拶しました。

今回の主な議案は、役員の一部辞任による補欠選挙ならびに役員定数に関する件で、すべて全会一致で承認され、終了しました。

新役員には、山門副会長(三教組)、藤岡事務局長(専従・自治労)、石原執行委員(自治労)、庄下執行委員(三教組)、出馬執行委員(基幹労連)が信任され、役員定数は副会長が1名減員となりました。また、今回、伊藤前事務局長をはじめ、4名が退任されました。



▲開会挨拶をする小田副会長



▲提案をする高津副会長



▲閉会挨拶をする楠本副会長



▲信任された新役員



▲退任された役員

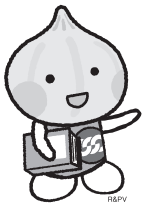
連合三重は、新たな体制のもとで、引き続き、『働くことを軸とする安心社会実現』をめざして、連合運動に取り組んでいきます。



6月は男女平等月間

男女平等参画調査の結果報告

調査期間／2020年1月20日～3月19日



連合は2013年10月から2020年9月までを取り組み期間とする「連合第4次男女平等参画推進計画」を策定し、3つの目標を掲げています。また、3つの目標達成を図るため、数値目標を掲げて取り組みを進めています。今回、連合三重では、3つの目標の達成に向けた進捗状況を把握するため、産別・単組・地協の協力のもと男女平等参画調査を実施しました。

3つの目標

目標1

働きがいのある人間らしい仕事(ディーセント・ワーク)の実現と女性の活躍の促進

目標2

仕事と生活の調和

目標3

多様な仲間の結集と労働運動の活性化

みんなで

かえよう



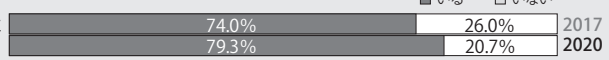
数値目標

数値目標1

2015年までに運動方針に男女平等参画推進と3つの目標の取り組みを明記している組織100%

産別

「男女平等参画の推進」に取り組むことの明記



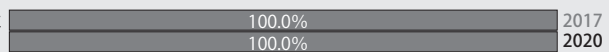
単組

「男女平等参画の推進」に取り組むことの明記



地協

「男女平等参画の推進」に取り組むことの明記

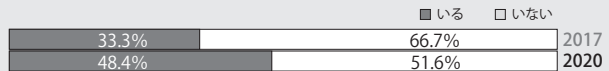


数値目標2

2017年までに女性役員を選出している組織100%

産別

8/24組織(33.3%)
15/31組織(48.4%)



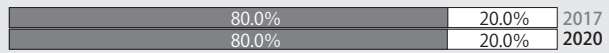
単組

146/249組織(58.6%)
113/224組織(50.4%)



地協

8/10地協(80.0%)
8/10地協(80.0%)



数値目標3

2020年までに連合の役員・機関会議の女性参画率30% (連合三重)

- ・女性役員数は、執行権のない会計監査を含め30.3%となり、数値目標の30%を達成
- ・第31回定期大会代議員は、全体のうち女性参画率が18.2%となり、第30回大会(13.1%)と比較して増えているものの未達成
- ・執行委員会の女性参画は、26.7%となり未達成
- ・各種委員会への女性の参画は、10の専門委員会(専門部含む)と、2つの協議会を設置して女性執行委員枠、専従役員枠(女性)を設け、延べ数で女性委員は217名中44名で、参画率は20.3%

今回の調査結果では目標の一つである「2017年までに女性役員を選出している組織100%」について、産別は15/31組織(48.4%)、単組は113/224組織(50.4%)、地協8/10地協(80.0%)と前回調査(2017年)と比較して、産別では増えたものの目標達成には至っていません。また役員総数における女性の割合は産別では11.9%、単組では14.3%、地協では8.9%、2017年調査と同水準であり、依然として女性の役員数が少ない現状となっており、女性の声が反映されにくい状況にあります。女性の参画率を上げるために様々な取り組みをされている組織がある一方、特に取り組んでいない組織も多く男女平等参画の重要性を継続的に訴えていく必要があります。

連合三重は、あらゆる機会を通じて、女性の参画を働きかけていきます。

男女平等月間の主な取り組み

6月1日からハラスメント対策関連法が施行され、事業主にパワーハラスメント防止措置が義務付けられました。

連合三重では、6月5日～10日に県下各地でハラスメントのない働きやすい職場づくりを訴えて街宣車を走らせるとともに、6月の平日の朝にFM三重ラジオで働きやすい職場づくりに向けたCMの配信、6月23日に三重労働局への要請行動、また6月15日～16日に実施した働く女性のための労働相談では、NHKニュースなどマスコミにも取り上げられ、ハラスメントなど差別的な扱いを受けている相談が寄せられました。



▲NHKニュース



▲街宣車によるアピール行動

『2019 台風19号災害』現在の長野市の状況報告

～復興・再生に向けてスタートを～

昨年の10月12日、「台風19号」により長野県の千曲川の堤防が決壊し、広範囲で浸水被害が発生しました。

連合三重では、連合東海ブロック連絡会の取り組みとして、11月4日～30日にのべ21名のボランティアを派遣して、家屋の泥かき作業やごみの片付け、りんご農園の泥かき作業などに携わってきました。

【連合長野からの報告】

10月12日の災害発生直後から、大勢の皆さまのボランティア派遣、また、義援金カンパに多くの皆さまからご協力いただき、吉川会長をはじめ構成組織の役員・組合員の皆さまに心よりお礼を申し上げます。

今まで、連合長野においても、東日本大震災や熊本地震、岡山・広島の高雨災害など、災害が発生した地域への人的派遣や物資支援など取り組みを行ってききましたが、今回のように、自分たちの地域で災害が起きるということは、あまり想定をしていませんでした。

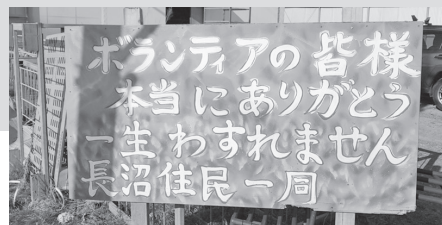
今回は当事者として東海ブロックはじめ全国からのご支援を「受け入れる」行動だったため、連合長野のベースキャンプ運営など、経験値0からのスタートであり、走りながら、考え、行動することの連続で、心が折れそうな時もありましたが、その時にいただいた連合三重の皆さまの温かいお心遣い、そして、連合長野Facebookに寄せられた「いいね」や励ましのメッセージが何より嬉しく、私たち連合長野役職員のパワーの源となりました。

本当にありがとうございました。

発災から7か月以上が経過し、被災された地域の皆さまのニーズも復旧から復興、地域コミュニティの再生へとニーズが移ってきています。しかし、当時では手の届かなかった、気づくことのできなかつたニーズもあり、床下の泥出しや、壁はがしなど、復旧に向けてこれからという住民の皆さんも多くいらっしゃいます。また、公費解体や住宅の改築も進まず、いまだ、今後の住宅再建・生活に見通しがつかない方々も多くいらっしゃいます。

また、新型コロナウイルス感染症は非常に大きく、今まで災害ボランティアの受け入れも中止、住民同士が語り合う場であるカフェや交流スペースもストップせざるを得ない状況でした。そうした状況のなか、私たちにできることとして、ボランティアにご参加いただいた皆さんからの声をヒントに、長野県に提案し商品化が実現した、寄付付きの「ONE NAGANOアルクマピン

あれから8カ月が経過し、今回、連合長野の岩崎副事務局長より現在の状況について報告をいただきましたので、ご紹介させていただきます。



▲津野交差点に設置されている住民の声

バッジ)「ONE NAGANOアルクマキーホルダー」購入の取り組み、また、官民協働で立ち上げたONE長野基金へのカンパ活動を行ってきました。引き続き、多くの皆さまからのご協力をいただくとありがたいと思っています。

6月よりようやく災害ボランティアが再開されましたが、参加者は長野市内に在住のボランティアに限るとされているなど、コロナ禍のなかでのボランティア活動は、今までにはない制限も多くあります。様々な制約はありますが、連合長野としては、今までのつながりを大切に、再び、助け合い支え合う姿を被災地に取り戻したいと考えておりますので、ご協力をよろしく願っています。

農業ボランティアとして皆さんに多くのご協力をいただいたアップルライン沿いのりんごは、今年も無事、花が咲き、実がつき、どんどん成長しています。現在は、摘果という、大きく美味しいりんごにするために、実を選別する作業中です。今年は、暖かい日が続いたため、農家さんたちの作業もとてもしやすいと聞いています。

本当にありがとうございました。

最後になりますが、この間の多くの皆さまからいただいたご支援に対しまして、あらためてお礼を申し上げますとともに、長野へこれからのご支援・ご協力をお願いし、引き続き、連合長野としてより一層、復興・再生に向けて頑張る決意を申し上げ、私からのご報告とさせていただきます。

これからもよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

連合長野
副事務局長 岩崎恵子



▲根元に泥に埋もれたりんごの木



▲りんごの木は花が咲き実がなった

▶ ONE NAGANOアルクマのキーホルダーとピンバッジ



6月～9月は 連合「全国平和運動強化期間」です!

～未来へつなぐ～

連合は、2020年、戦後75年という節目の年を迎えるにあたり、「未来へつなぐ」をキーワードに平和運動を展開しています。私たちがめざす「安心して暮らし、働き、労働運動に携わることのできる社会」の実現には「社会が平和で安定していること」が大前提です。

そのためにも継続的に平和パネル展などに取り組み、多くの方に平和や人権、命の尊さを学んでいただくとともに、平和であり続けることの大切さを次世代へ継承し、未来へつないでいきます。



平和パネル展

とき
7月11日(土)～8月2日(日)

ところ
三重県総合博物館
「学習交流スペース前廊下」他



連合三重結成30周年事業

親子ものづくり教室(プログラミング体験・モーター工作)参加者募集!!

連合三重結成30周年事業として、「親子ものづくり教室」を開催します。参加にあたり募集要件がありますので、参加ご希望の方は各組合事務所までお問い合わせ下さい。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となる場合もあります。

【プログラミング】

とき 8月22日(土) 10:00～12:20
ところ 三重県勤労者福祉会館 6階「講堂」
募集数 20家族 **締切** 7月24日(金・祝)

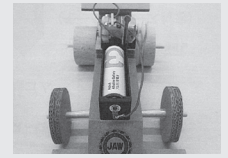
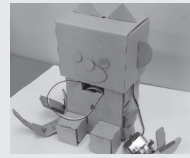
参加無料



【モーター工作】

とき 8月22日(土) 14:00～16:30
ところ 三重県勤労者福祉会館 6階「講堂」
募集数 40家族 **締切** 7月24日(金・祝)

※荒天の場合は
8月29日(土)に変更



▲プログラミング体験 ▲モーター工作(四輪)完成イメージ

子どもたちにマスクを寄贈!



連合三重が支援・連携をとっている「チャイルドラインMIE」や「三重子ども食堂ネットワーク」に対し、多くの子どもたちに活用していただけるよう、それぞれの団体にマスク1,000枚を寄贈しました。



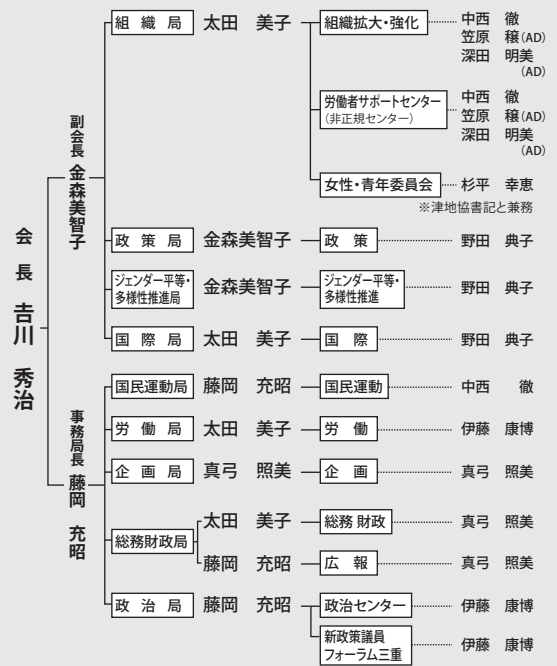
▲チャイルドラインMIE代表理事の田部さん(6月9日)



▲子ども食堂太陽の家を運営する対島さん(6月11日)

2020年度後半 連合三重事務局体制

※6月の役員交替により連合三重の事務局体制がわかりました。



安心社会づくりに向けた福祉活動に、各種団体と連携して取り組みます

R 三重県労福協

〒514-0004 津市栄町1丁目891
三重県勤労者福祉会館内
TEL 059-225-2855
FAX 059-229-4433
ホームページ <http://www.mie-rofkyo.jp>

豊かで、公正な社会づくりをめざして。

R 健全・安心・貢献 東海ろうきん

〒514-0003 津市桜橋2丁目126番地
TEL 059-224-0336
FAX 059-224-4819
ホームページ <http://tokai.rokin.or.jp>

私たちは、日本てただひとつ。はたらく人のための生活応援バンクです。

こくみん共済 coop

〒514-0004 津市栄町4-259-1
TEL 059-227-6167
FAX 059-225-5069
ホームページ <https://www.zenrosai.coop>

共済事業をとおして「労働者福祉運動」をサポートします。

三重県住宅生協

〒514-8540 津市栄町1丁目891
三重県勤労者福祉会館内
TEL 059-225-0851
FAX 059-225-0337
ホームページ <http://www.mie-jsk.or.jp/>

理想の住まいづくりをカタチにする暮らしのパートナー。